

# 鳥取県における少子化対策等に関するアンケート調査結果（概要）

令和4年8月31日

子育て・人財局子育て王国課

## 1 アンケート調査の概要

- 目的：県民の少子化・子育て支援対策への要望や結婚・子育てに対する意識等を把握し、効果的な施策に反映するための基礎資料とする（前回調査は平成30年度）
- 対象：鳥取県に居住地がある者（鳥取県県政参画電子アンケート会員に登録している者、鳥取県子育て応援パスポートメールマガジンの受信者、えんトリー（とっとり出会いサポートセンター）の会員に登録している者、県内企業従事者、大学生等）
- 調査期間：令和4年6月24日（金）～7月18日（月）
- 調査方法：電子メールで調査依頼を行い、県のホームページ上で調査票に回答
- 回答者：計619人 [男性：306人(49.4%)、女性：307人(49.6%)、その他：6名(1.0%)]

## 2 調査結果の概要

### (1) 結婚について

- 結婚・交際につながる出会いは、「職場（アルバイト含む）」37.4%(前回31.7%)、「友人や兄弟姉妹を通じて」17.9%(前回19.3%)が多く、前回同様、身近なことがきっかけとなることが多い。
- 一方、独身者のうち、81.4%が「結婚したい」と回答。出会いの場として、公的な出会いづくり、民間の結婚相談、見合いを利用したいと回答した者も増加している。
- 結婚していない理由は、「適当な相手に巡り合わない」が55.9%と最も多く、次いで「自分に経済力がない」、「自分の自由になる時間がなくなるから」、「異性と上手く付き合えない」が多い。

### (2) 子育てについて

- 理想の子どもの数では、3人以上が、62.8%（前回55.0%）と多子を望む者が増加する一方で、現実には「2人」が51.2%と前回(47.5%)同様に最も多く、「0人」も7.6%（前回3.4%）と増加し、子どもを持ってない・持たないを選択する者の増加が顕著であった。
- 理想より現実には「経済的負担が大きい」が64.6%（前回61.5%）、「仕事と子育ての両立が難しい」が43.3%（前回38.5%）を占めた。
- 子育てに係る経済負担については、前回と比較して「保育所・保育園の保育料」21.7%（前回45.8%）が大幅減となった一方で、「大学・大学院に必要な費用」76.1%（前回65.3%）や「高校就学期に必要な費用」27.5%（前回24.5%）が増加した。

### (3) 家庭と仕事の両立について

- 出産や子育てについて、「十分な配慮がある」とした職場が「出産」は49.9%（前回35.7%）、「子育て」は44.9%（前回27.7%）と職場の配慮が進んできている。
- しかし、結婚、出産を機に仕事を辞めた者のうち、「仕事を続けたかったが、仕事と家事・育児の両立が難しい」とした方が38.2%（前回28.9%）あり、その理由としては「時間外労働の負担が大きいなど勤務時間と生活時間が合わなかった」が51.6%（前回42.7%）を占めている。

### (4) 子育て支援サービスの活用等について

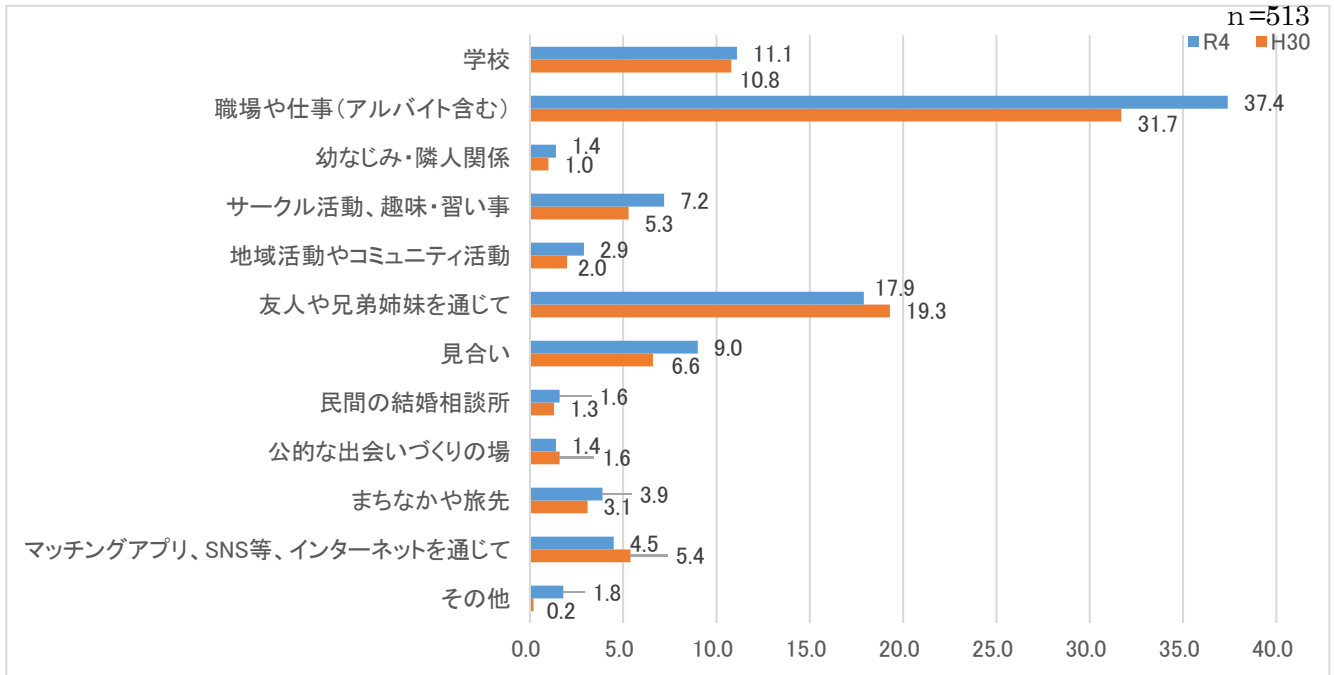
- 子育て支援サービスの利用者の割合は約1～5割とバラつきがあるが、利用者の割合が多いものは「保育所等での延長保育」、「地域子育て支援センター」、「放課後児童クラブ等」であり、働きながら子育てをする世帯にとっては必要なサービスであると考えられる。
- 今後の子育て支援策として、「妊娠・出産しても働き続けられる職場環境の整備」43.0%（前回47.5%）、「仕事と家庭の調和がとれた働き方実現のための職場環境の整備」40.5%（前回43.1%）が多くを占め、更なる職場環境の整備を求める声が多い。

# 鳥取県における少子化対策等に関するアンケート調査結果（主な項目）

## 1 結婚について

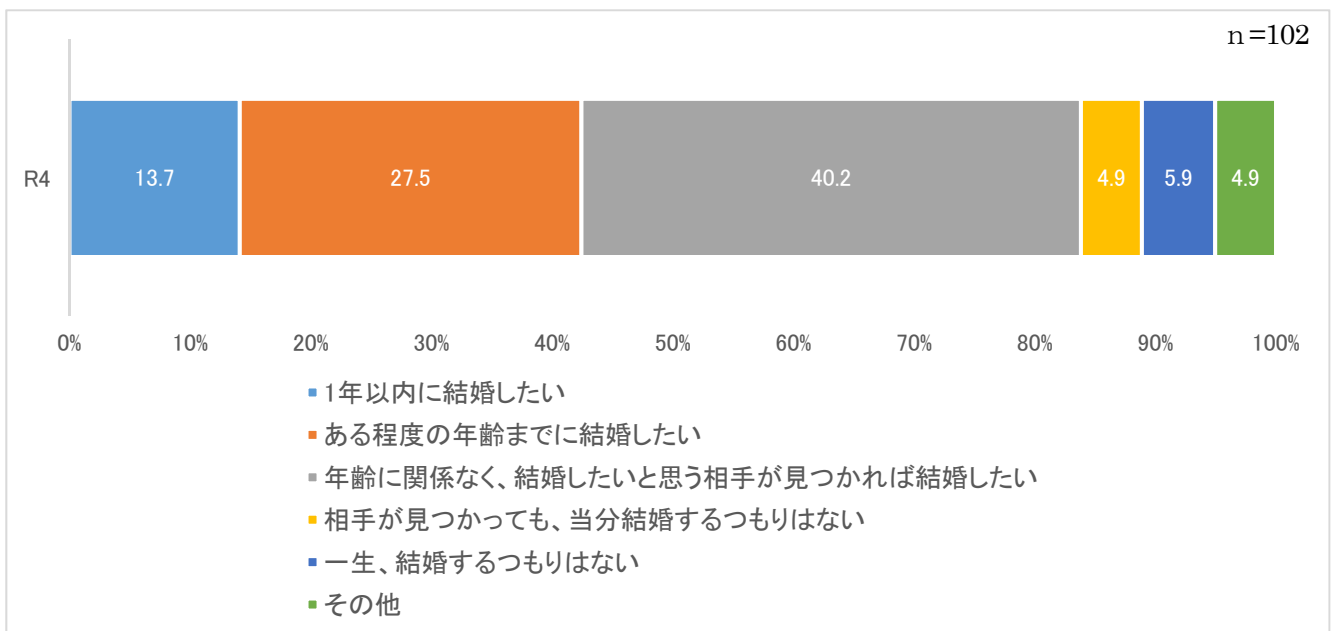
### （1）結婚、交際されている方との出会いについて

「職場や仕事」が37.4%（H30年度31.7%）と最も多く、次いで「友人や兄弟姉妹を通じて」が17.9%（H30年度19.3%）、「学校」が11.1%（H30年度10.8%）となっている。



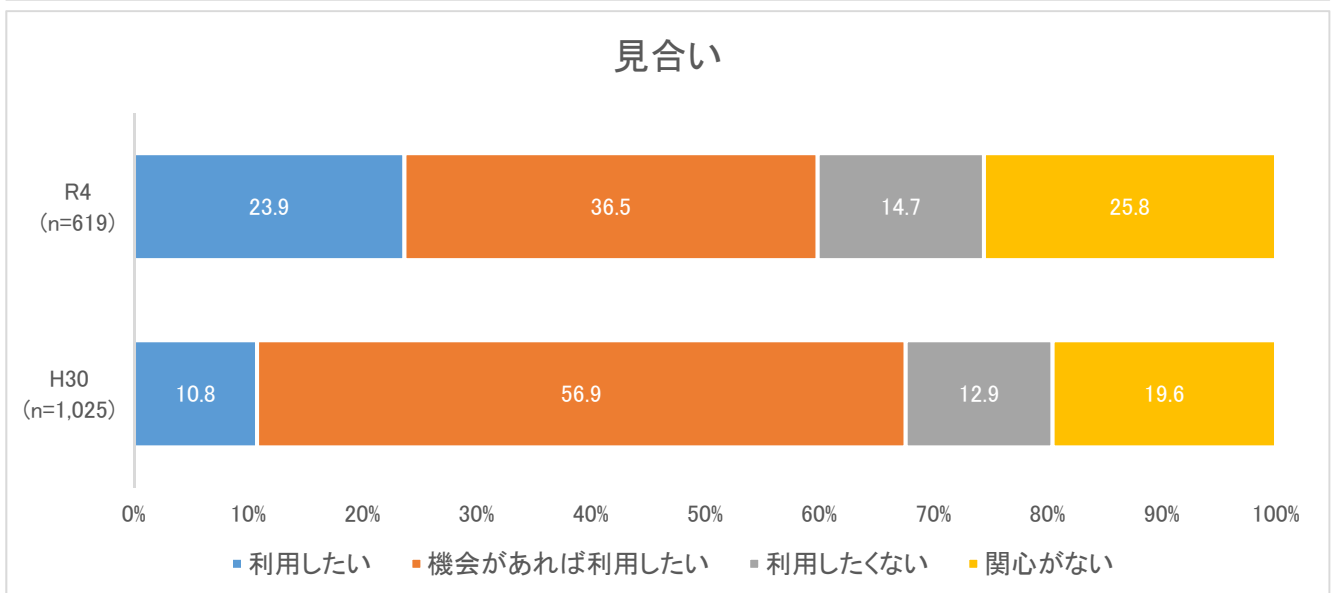
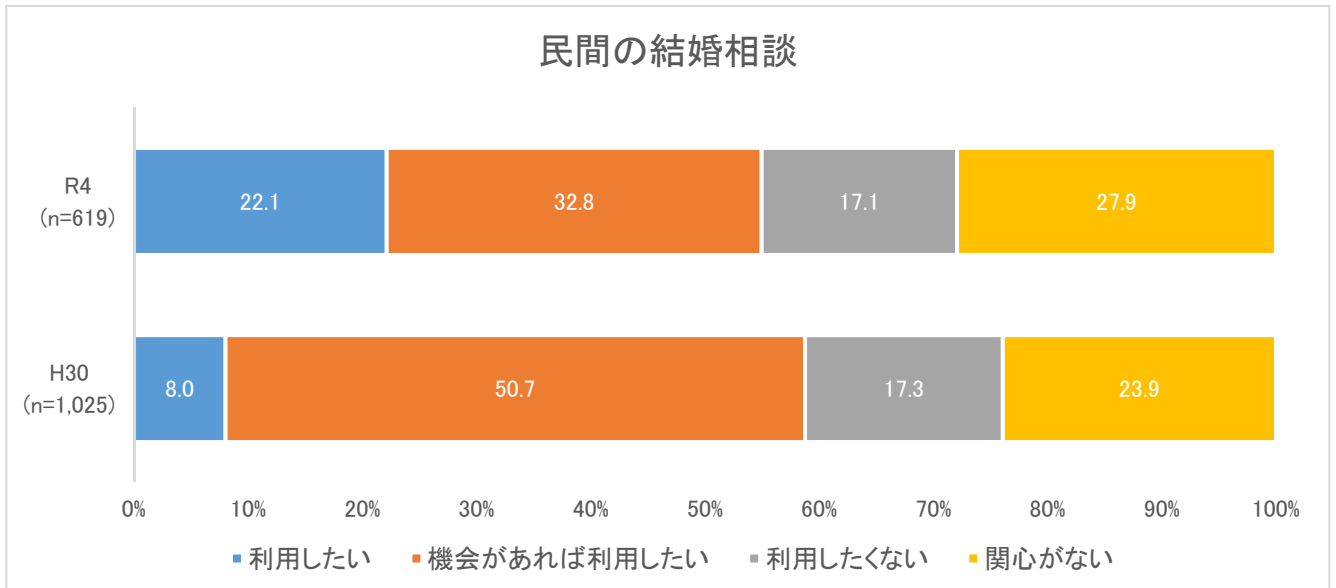
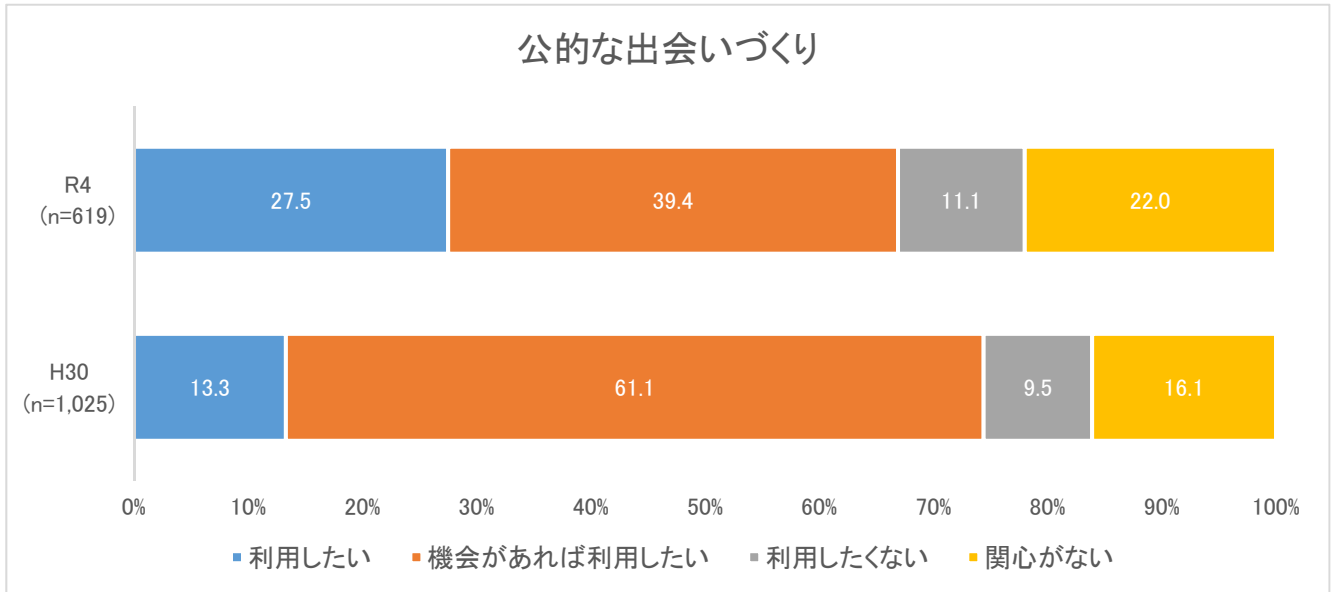
### （2）独身者の結婚に対する考え方について

独身者のうち結婚したいと回答した者は81.4%（1年以内に結婚したい（13.7%）、ある程度の年齢までに結婚したい（27.5%）、結婚したいと思う相手が見つければ結婚したい（40.2%）の合計）となっている。



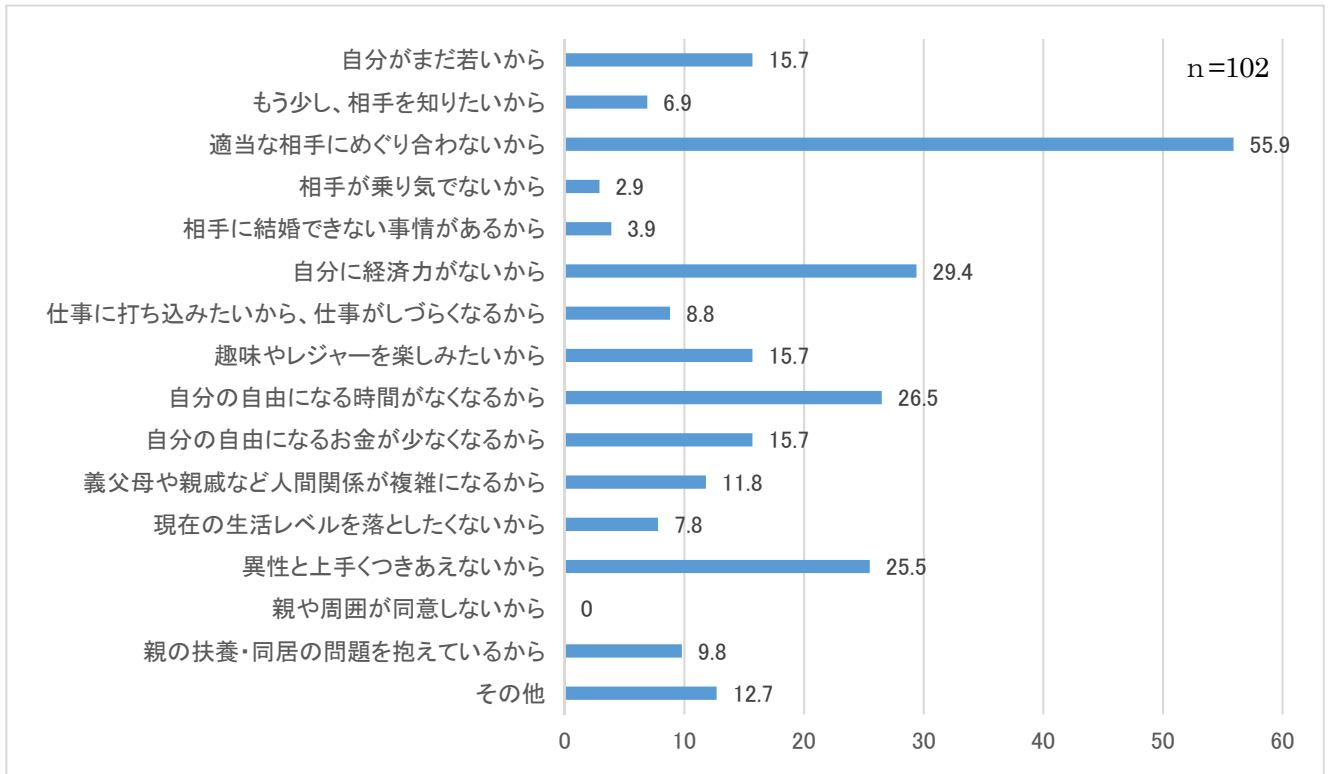
### (3) 公的な出会いづくり、民間の結婚相談、見合いの利用について

出会いの場として利用したいものとして、公的な出会いづくりが 27.5% (H30 年度 13.3%)、民間の結婚相談が 22.1%、(H30 年度 8.0%)、見合いが 23.9% (H30 年度 10.8%) と回答しており、いずれも前回より増加している。



#### (4) 結婚していない理由について（複数回答可）

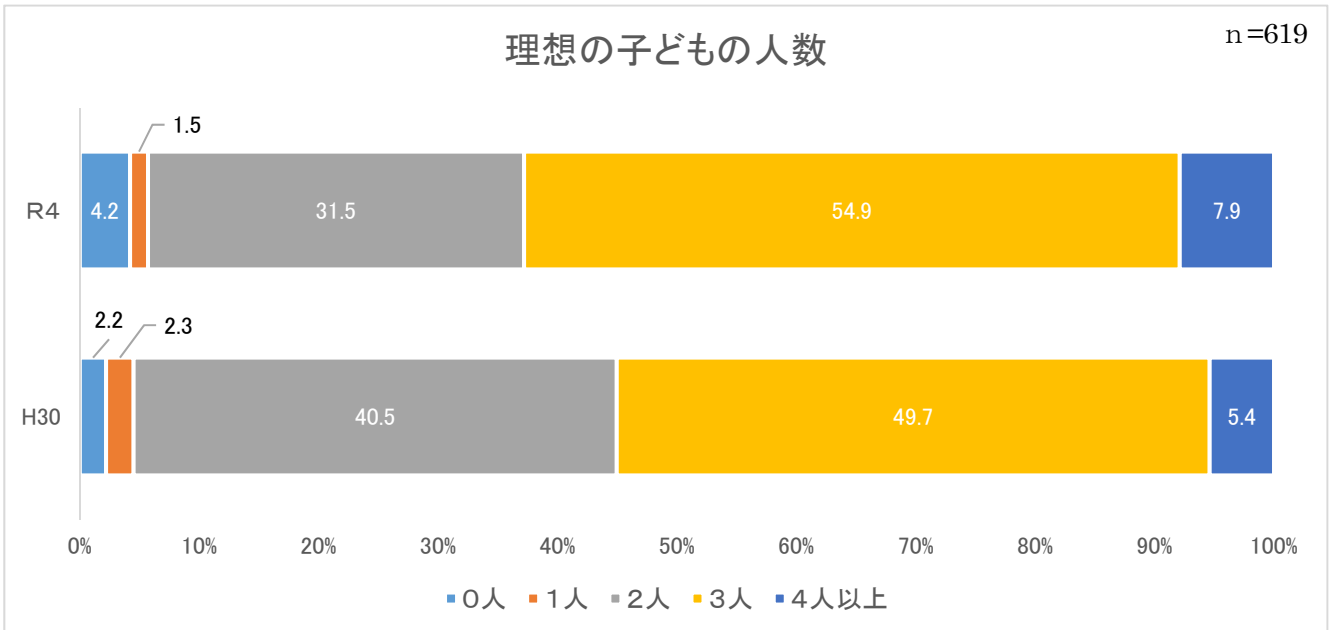
「適当な相手にめぐり合わないから」が55.9%と最も多く、次いで「自分に経済力がないから」が29.4%、「自分の自由になる時間がなくなるから」が26.5%となっている。



## 2 子育てについて

### (1) 理想的な子どもの数について

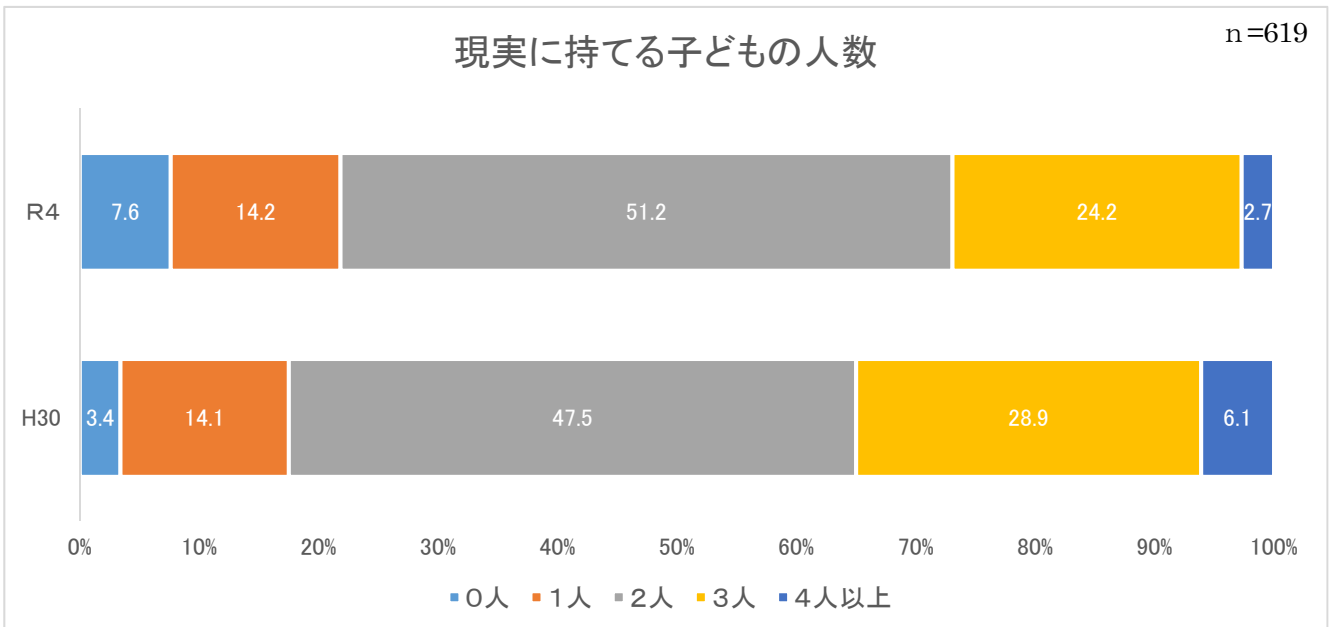
「3人」が最も多く54.9%。3人以上では62.8%（H30年度55.1%）と対前回比7.7%増加し、2人以下は37.2%（H30年度45.0%）と対前回比7.8%減少している。



### (2) 現実に持てると思う子どもの数について

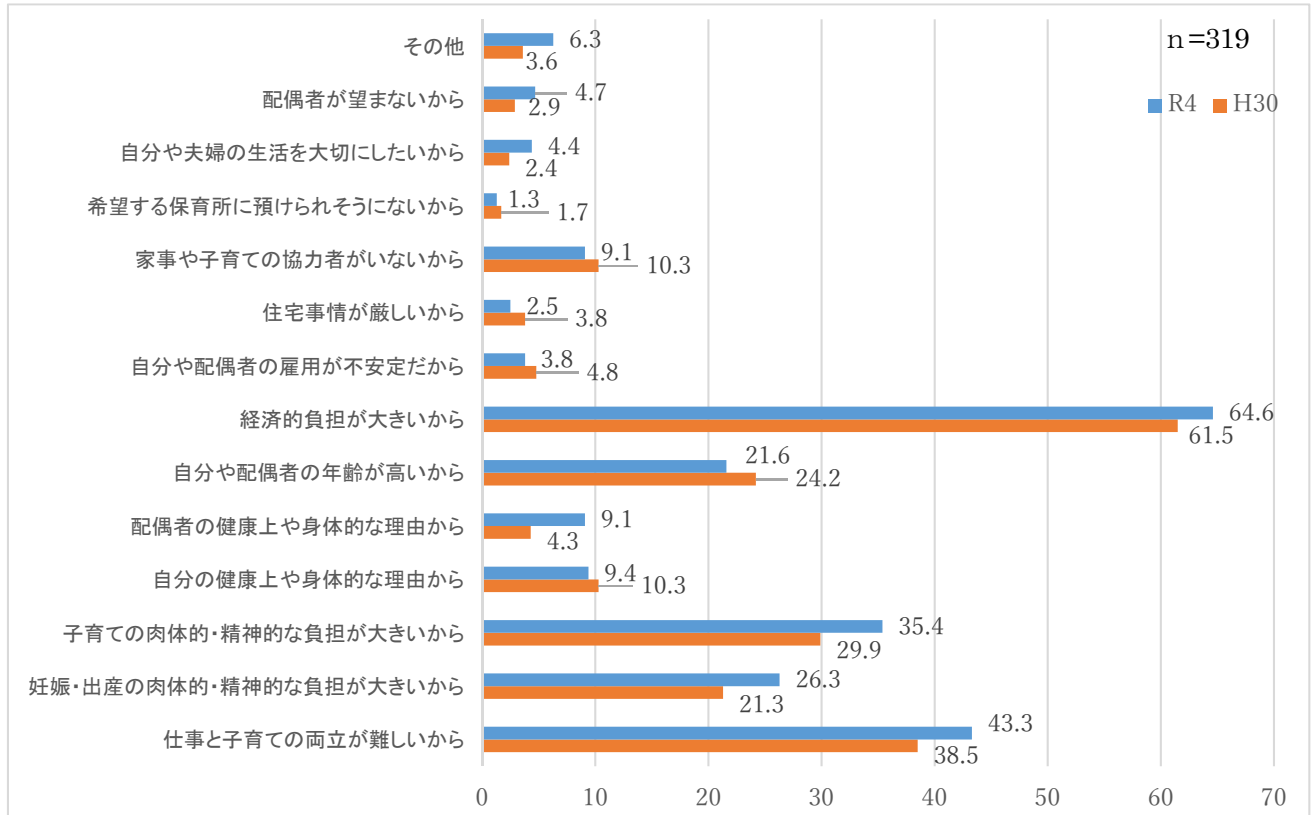
「2人」が最も多く51.2%。3人以上では26.9%（H30年35.0%）と対前回比4.4%減少し、2人以下は73.0%（H30年65.0%）と対前回比8.0%増加となった。

また、0人が7.6%（H30年3.4%）と前回比4.2%増加となっている。



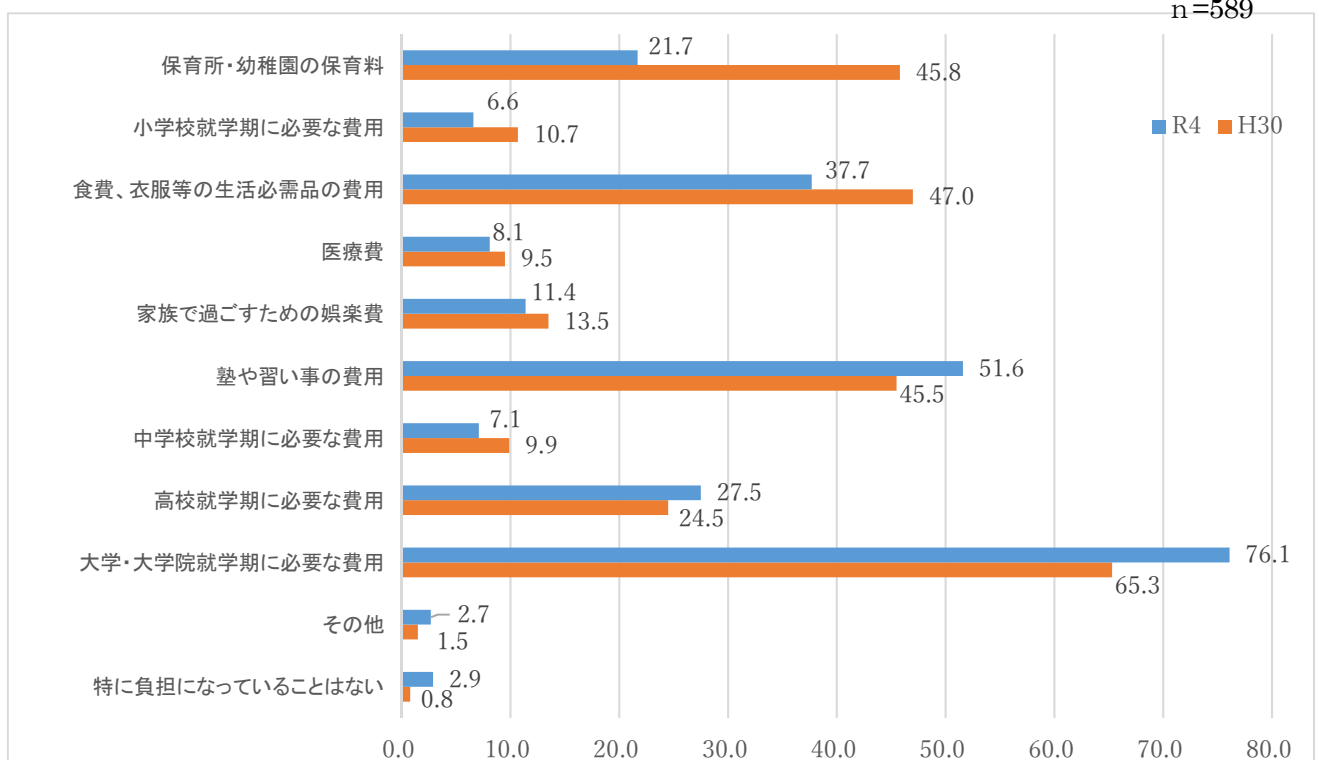
## (2) 現実に持つ子どもの数が理想の子どもの数より少ない理由について

「経済的負担が大きいから」が 64.6%(H30 年 61.5%)と最も多く、次いで「仕事と子育ての両立が難しいから」が 43.3%(H30 年 38.5%)、「子育ての肉体的・精神的な負担が大きいから」が 35.4%(H30 年 29.9%)となっており、いずれも前回より増加している。



## (3) 子育てにおける家計負担について

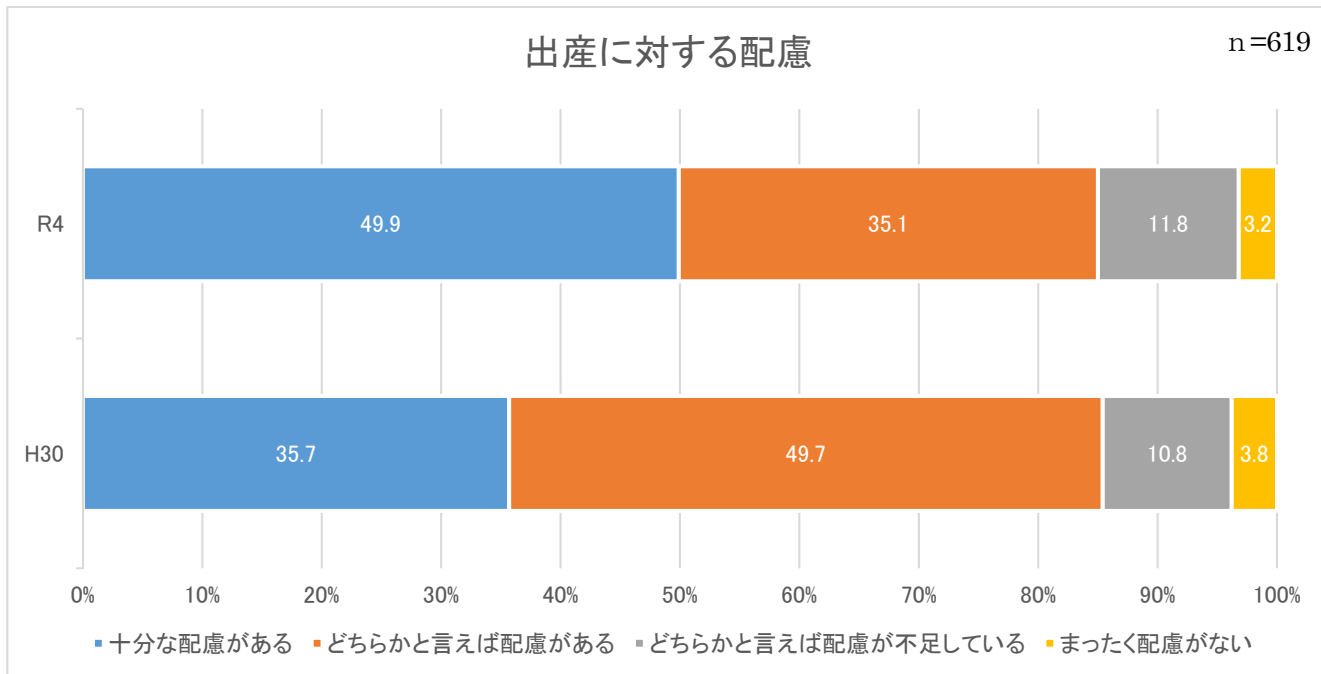
子育てに係る経済負担が大きいものとして、「大学・大学院に必要な費用」が 76.1%(H30 年 65.3%)と最も多く、前回から 10.8%増加している。一方で、「保育所・保育園の保育料」は 21.7%(H30 年 45.8%)と大幅減となっている。



### 3 家庭と仕事の両立について

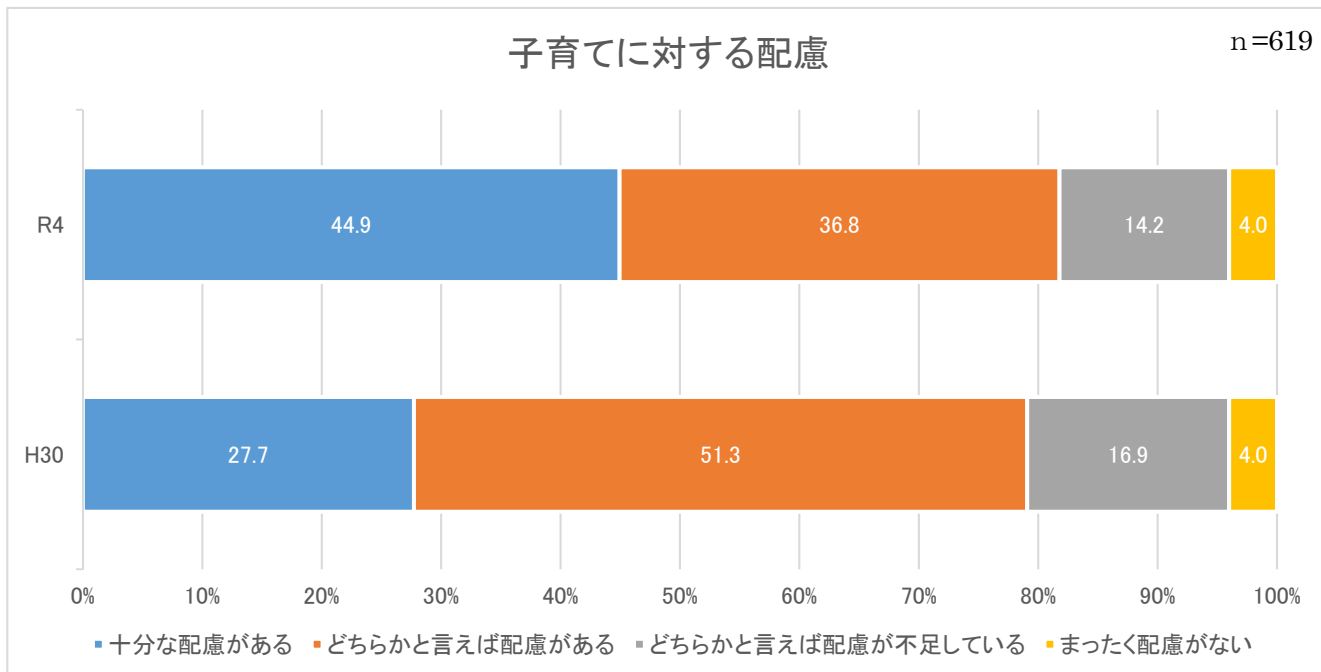
#### (1) 出産と仕事の両立に対する職場の配慮について

働いてる(働いていた)職場に、出産と仕事の両立に「十分な配慮がある」とした者が 49.9% (H30年 35.7%) と前回から増加している。



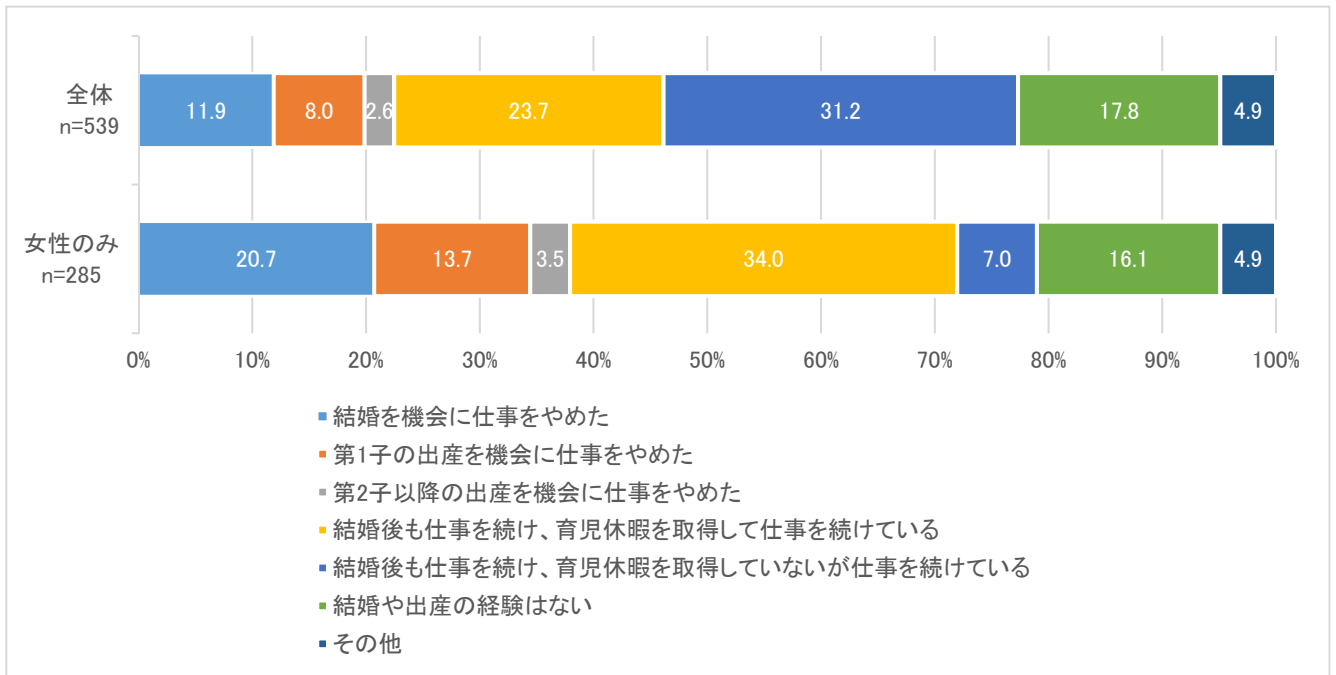
#### (2) 子育てと仕事の両立に対する職場の配慮について

働いてる(働いていた)職場に、子育てと仕事の両立に「十分な配慮がある」とした者が 44.9% (H30年 27.7%) と前回から増加している。



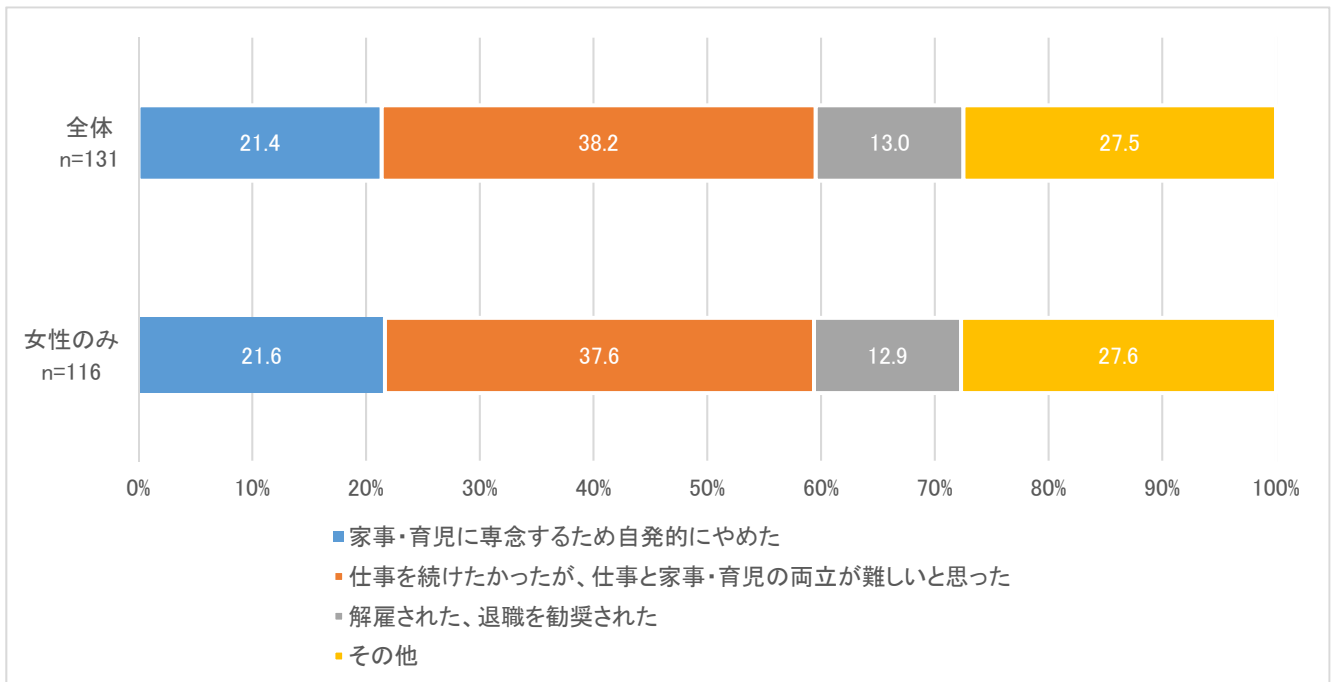
### (3) 結婚や出産を機に仕事を辞めた経験について

「結婚を機に辞めた」が11.9%、「出産を機に辞めた(第1子、第2子以降の合計)」が10.6%となつてとなつている。しかし、女性に限ると「結婚を機に辞めた」が20.7%、「出産を機に辞めた(第1子、第2子以降の合計)」が16.5%と全体を大きく上回っている。



### (3) 仕事を辞めた理由について

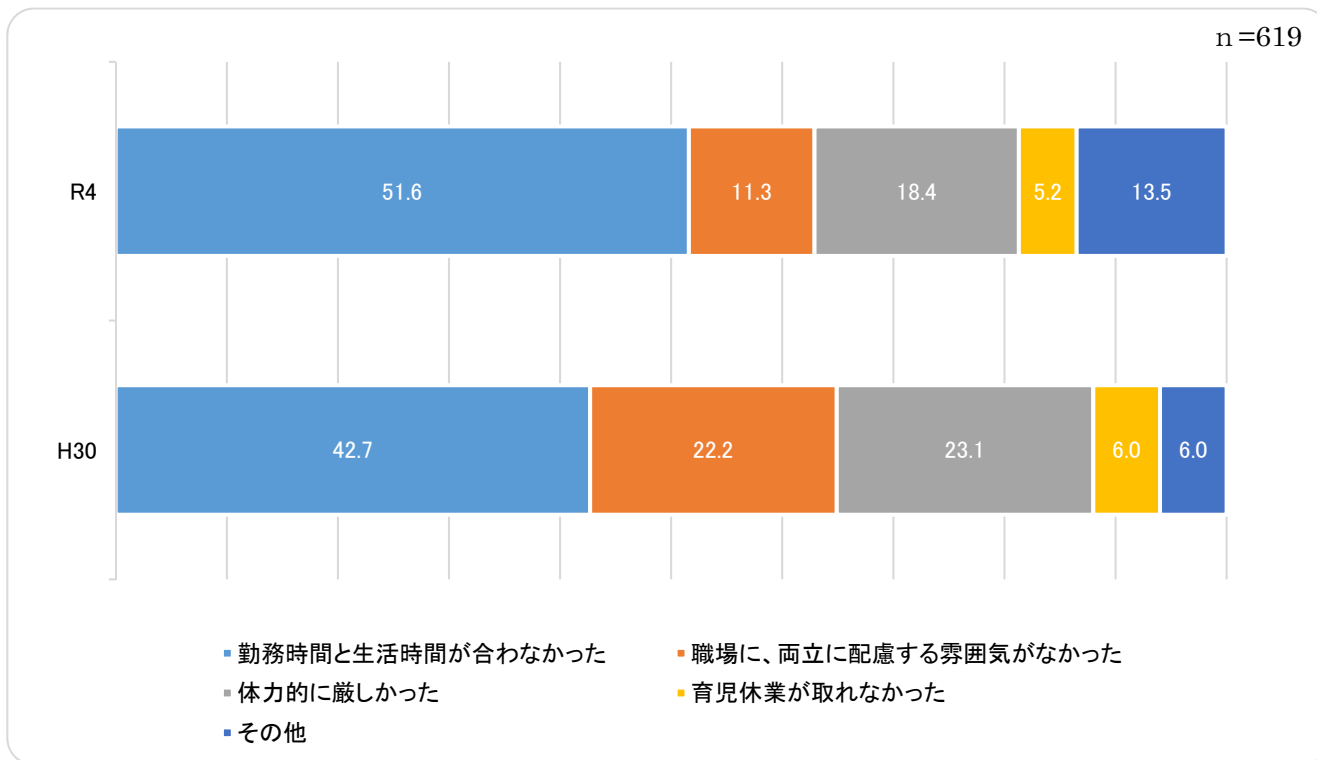
家事・育児が要因であるものが59.6%（「仕事を続けたかったが、仕事と家事・育児の両立が難しいと思った」38.3%、「家事・育児に専念するため自発的にやめた」21.4%）大部分を占めている。なお、仕事を辞めたと回答した者のうち約9割（116人/131人≒89%）が女性である。





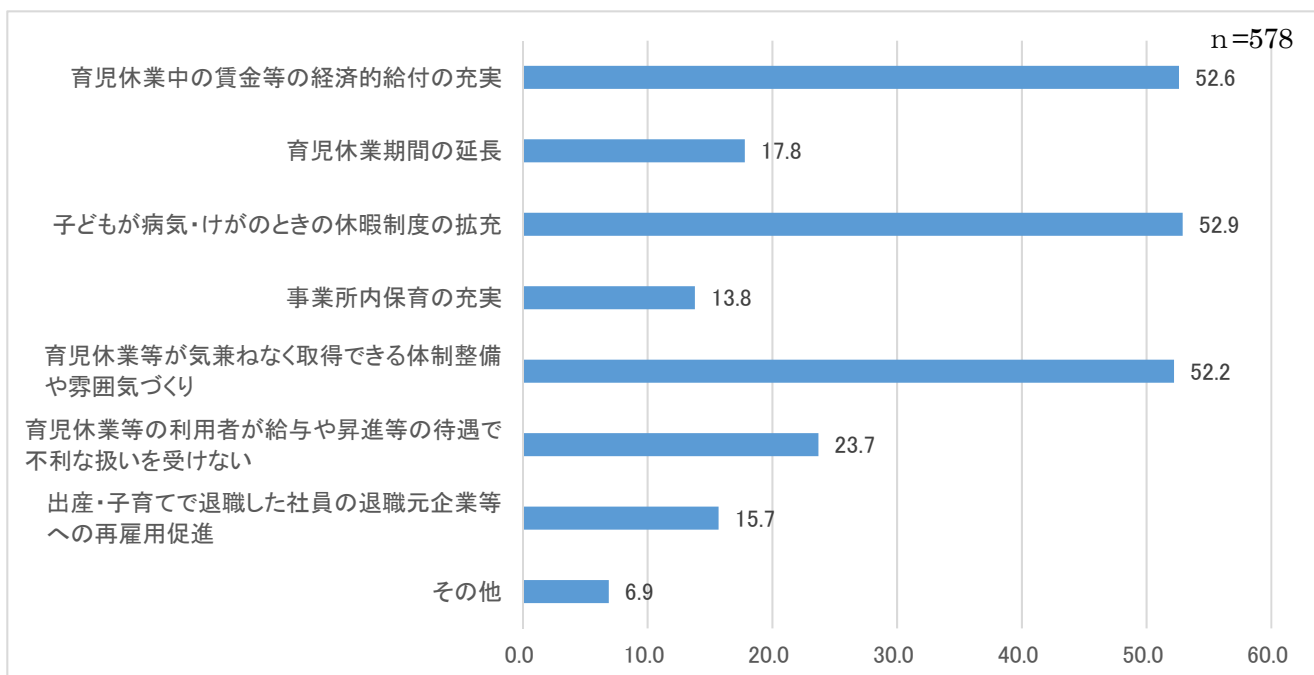
#### (4) 家事・育児と仕事の両立で難しいと感じたことについて

「勤務時間と生活時間が合わなかった」が51.6%(H30年42.7)と最も多く、対前回は8.9%増加している。一方で、「職場に両立に配慮する雰囲気がなかった」が11.3%(H30年22.2%)と、前回は10.9%減少している。



#### (5) 仕事と子育てを両立するために必要な職場の取組について

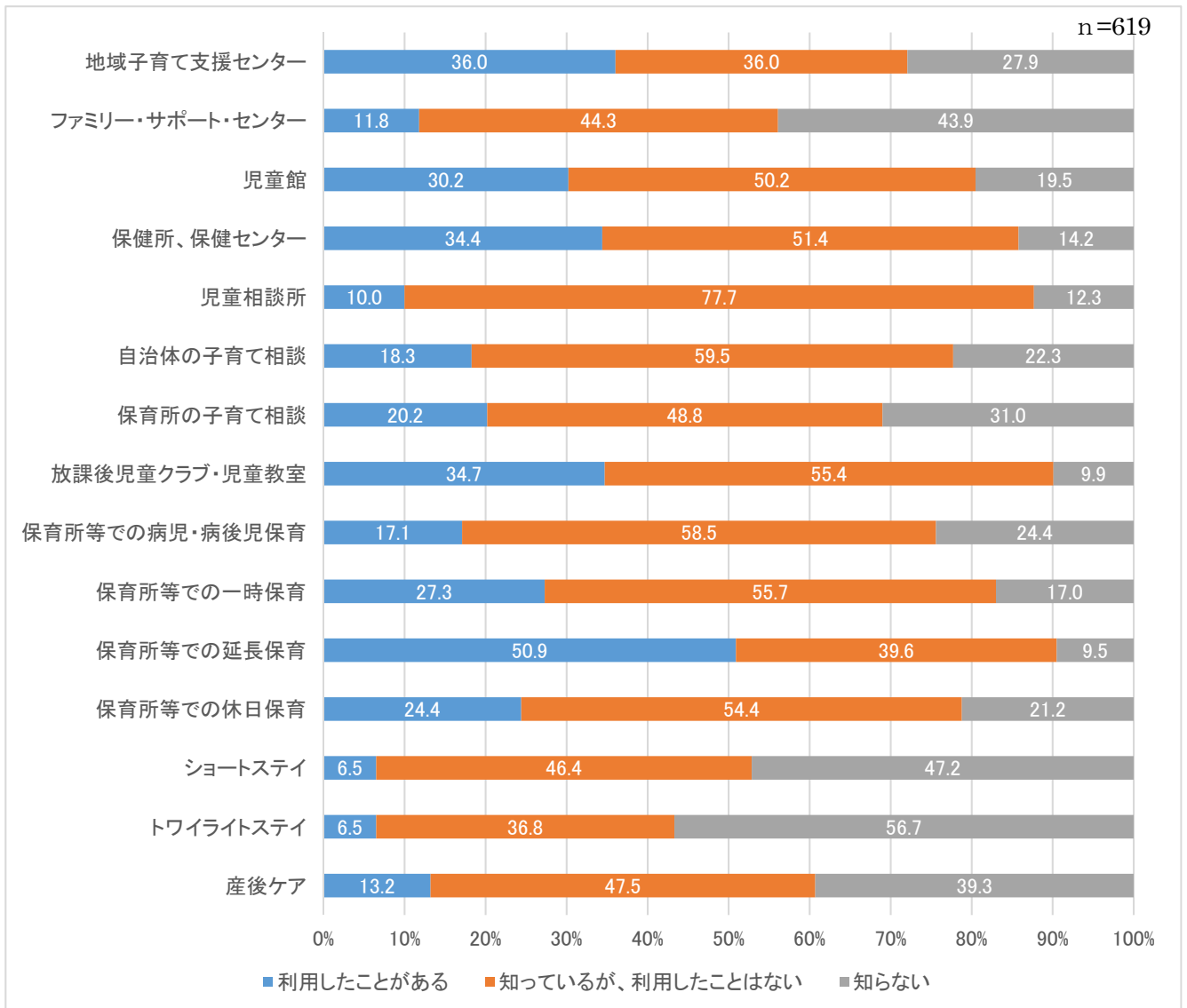
「子どもが病気・けがのときの休暇制度の拡充」が52.9%と最も多く、「育児休業中の賃金等の経済的給付の充実」が52.6%、「育児休業等が気兼ねなく取得できる体制整備や雰囲気づくり」が52.2%と、ほぼ同割合となっている。



#### 4 子育て支援サービスの活用等について

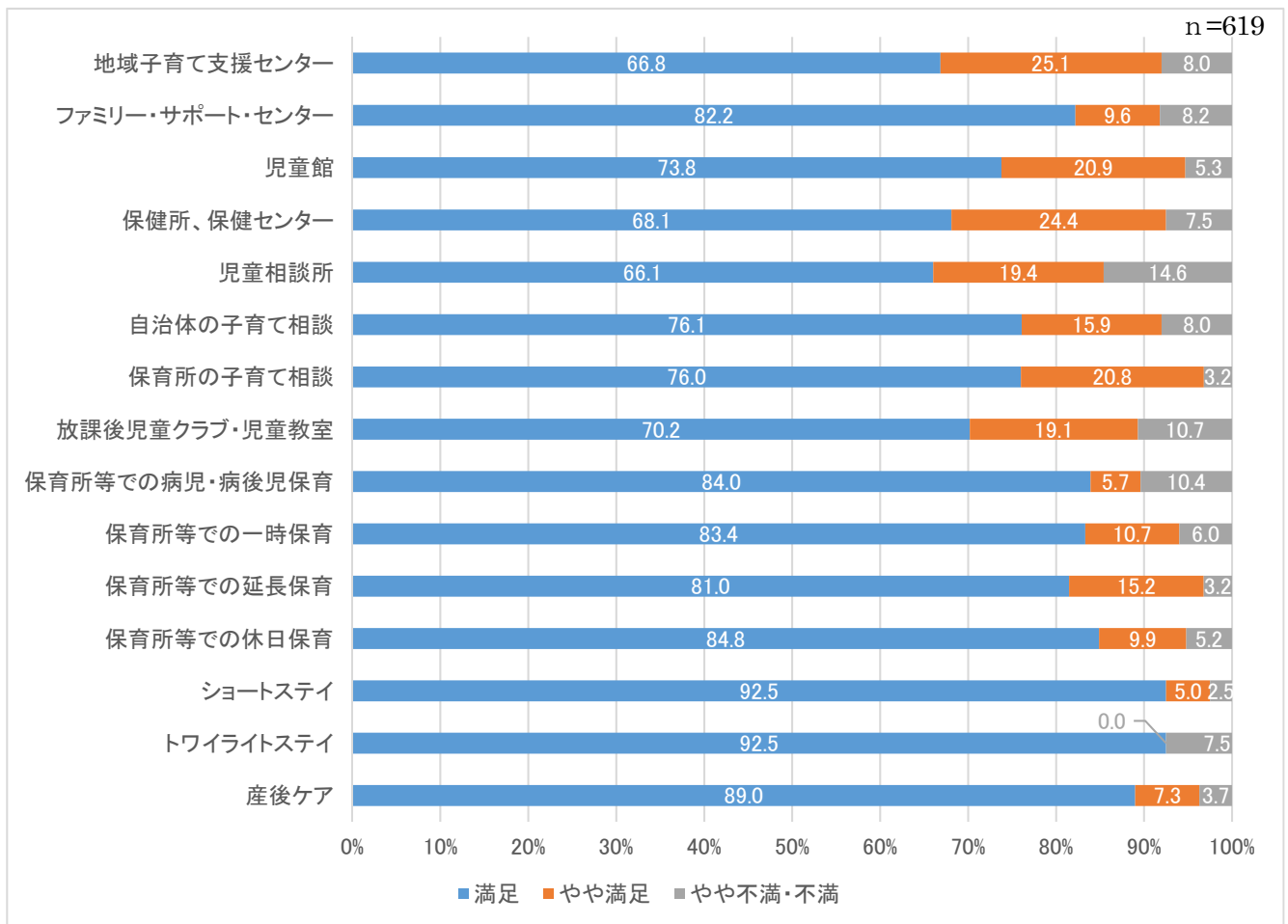
##### (1) 地域子育て支援サービスの利用状況について

各サービスとも利用経験については大きくばらつきがあり、「ファミリーサポート・センター」「ショートステイ」「トワイライトステイ」については、他の項目と比較して認知度が低い。



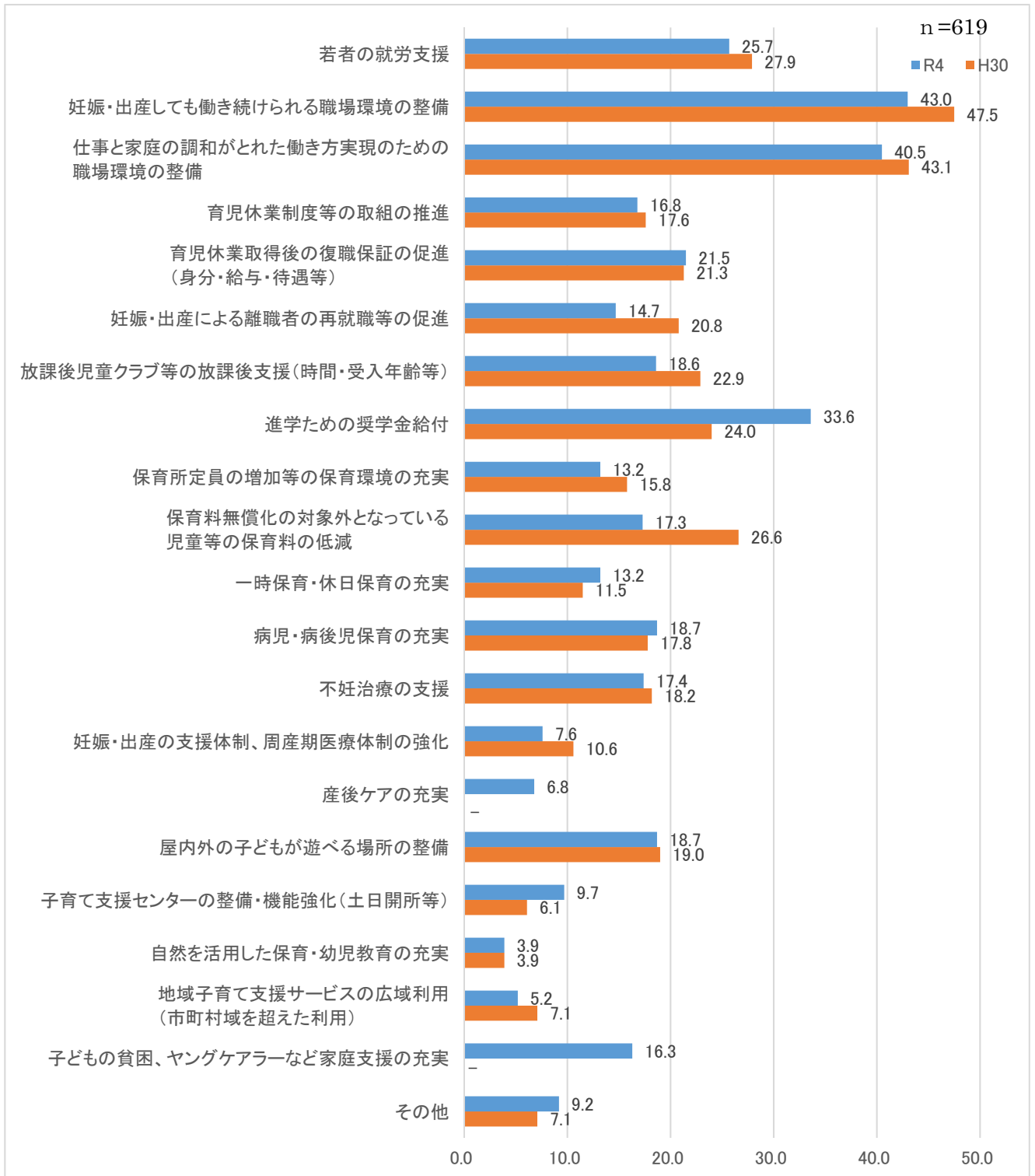
## (2) 地域子育て支援サービスの満足度について

各サービスとも、利用者の9割程度が満足（やや満足含む）と回答している。



### (3) 充実してほしい子育て支援策について

「妊娠・出産しても働き続けられる職場環境の整備」43.0%(H30年47.5%)、「仕事と家庭の調和がとれた働き方実現のための職場環境の整備」40.5%(H30年43.1%)と高く、更なる職場環境の整備を求める声大きい。



※「産後ケアの充実」、「子どもの貧困、ヤングケアラーなど家庭支援の充実」は令和4年度の新規項目。